

「119」のかけ方

「119」は命を助けるチームのスタートライン！

通報した瞬間から、あなたと指令員、救急隊員はひとつのチームになります。チームのために知ってほしい3つのこと。

① まず、あなたは“答える役”です

指令員は「何をどう聞くか」で助けを最短で届けます。話すより、質問に答えることが、早い助けにつながります。



指令員は以下の通り質問します。

- ・ 火事ですか 救急ですか？
- ・ 住所はどこですか？
- ・ 誰がどうされましたか？
- ・ 呼びかけに反応はありますか？
- ・ 呼吸はありますか？



※救急車が向かう住所が確定すれば、救急車は出動しますので、落ち着いて指令員の質問に答えてください。

② 指令員が「切っていいよ」と言うまで“電話は命綱”



救急車が到着するまで、電話は命のラインです。途中で切ってしまうと、正確な場所や状態がわからなくなります。指令員の声が聞こえる間は、命がつながっています。

③ スピーカーであなたの手が“命をつなぐ”



応急手当が必要なとき、両手を自由に使うために電話をスピーカーモードに。指令員が手順を伝えながら、あなたの手で命を守るサポートをします。家の電話も携帯電話もスピーカーモードにできるようにしておきましょう。